

大垣市中川連合自治会 様

地域のつながりの再生をめざして  
～岐阜県の取り組む地域コミュニティ施策～

平成26年7月22日(火)

岐阜県環境生活部環境生活政策課地域コミュニティ室  
課長補佐兼コミュニティ・生涯学習係長 小島 光則

# 清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

**知**

清流がもたらした

自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

**創**

ふるさとの宝ものを磨き活かし、

新たな創造と発信に努めます

**伝**

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

# 本日の内容

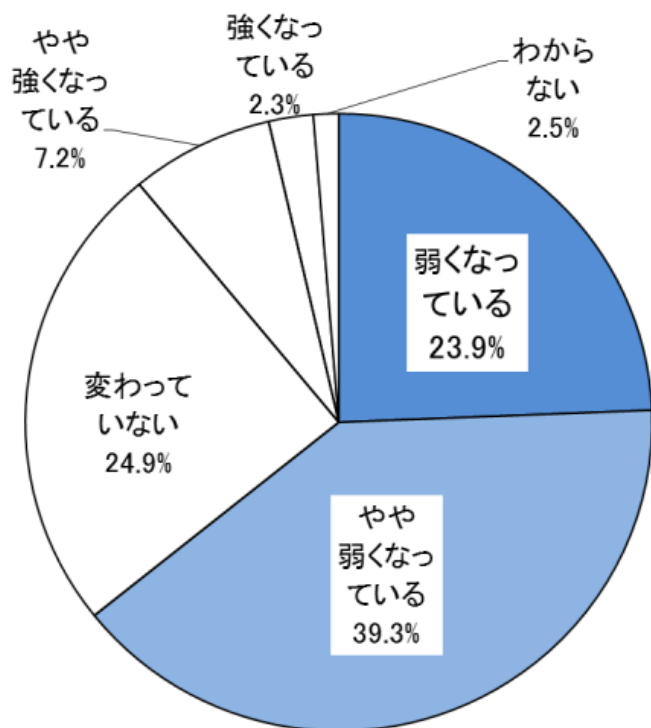
- 地域コミュニティを取り巻く現状と課題
- 地域の絆づくりに向けた取組  
(DVDによる紹介)
- 先進活動事例紹介

# 地域コミュニティを取り巻く現状

## 地域のつながりの希薄化

### ■ 地域における人と人とのつながり

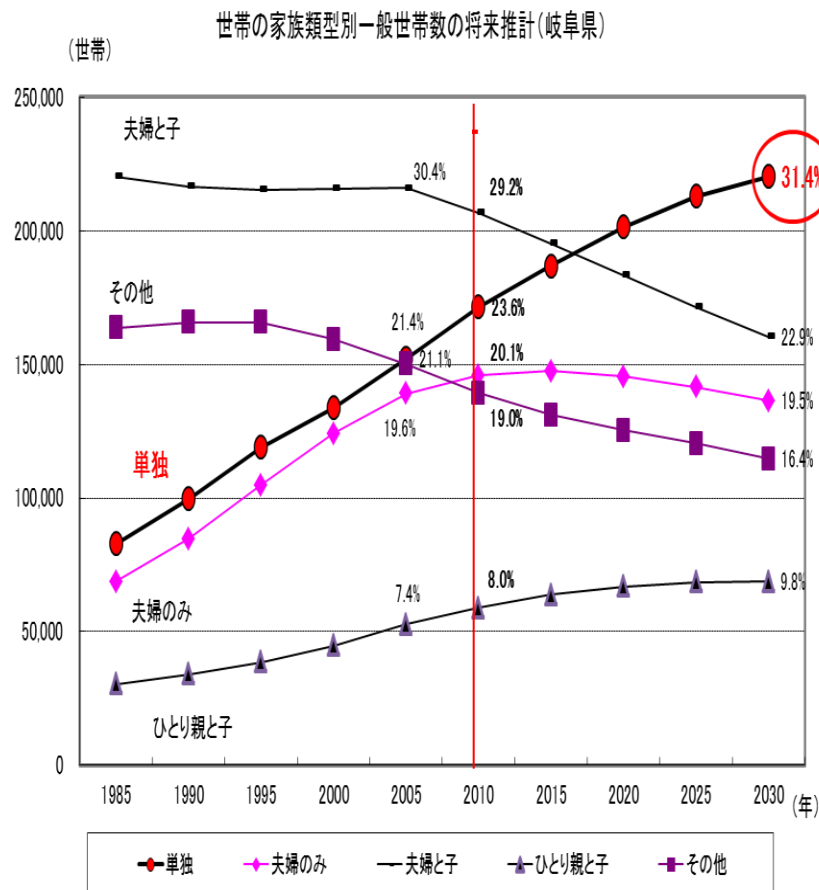
- ・ 連合自治会長の約63%が「弱くなっている」「やや弱くなっている」と回答。



調査対象：連合自治会長  
(平成23年度 県地域安全室調べ)

## 単独世帯の増加

- 単独世帯は一貫して増加を続け、将来最も多い家族類型となり、2030年には31%に達する見通し。



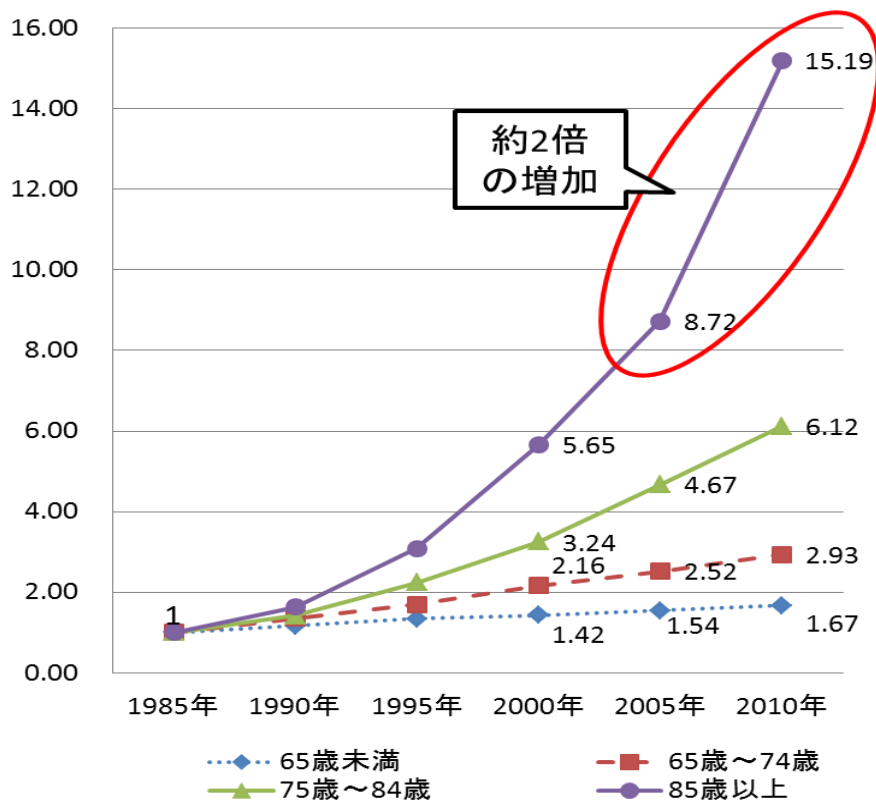
(備考) 国立社会保障・人口問題研究所公表資料により作成。  
2010年までは国勢調査結果の確定値、2015年以降は2005年国勢調査の数値に基づき推計。

# 地域コミュニティを取り巻く現状

## 後期高齢者の増加

■ 単独世帯のうち後期高齢者の世帯が近年急増。

岐阜県の単独世帯数の年代別指数比較  
(1985年を1とした場合)

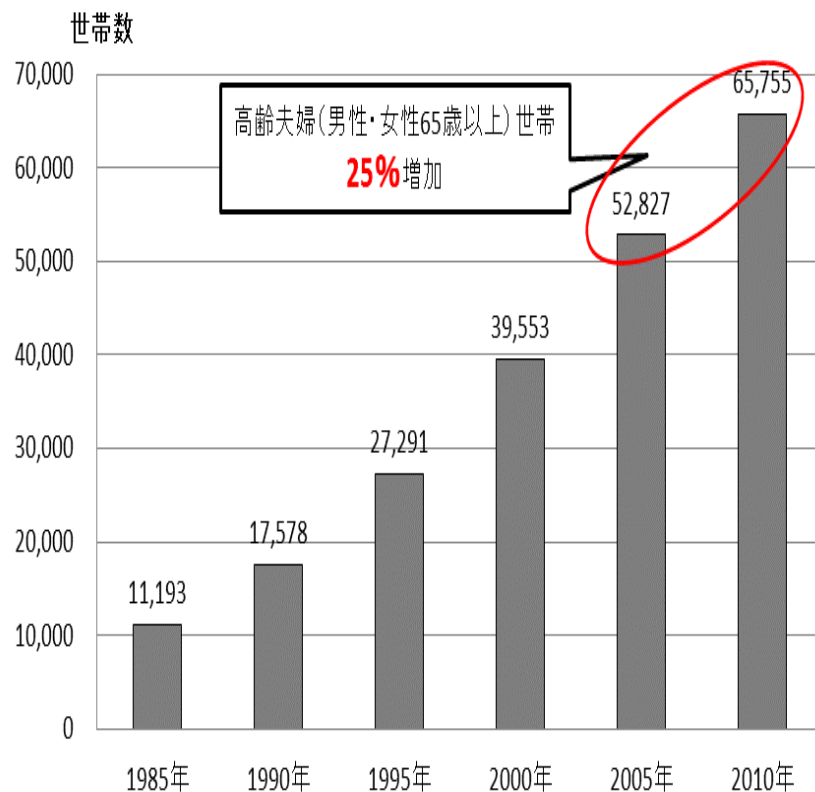


総務省：国勢調査

## 高齢夫婦世帯の増加

■ 単独世帯となる可能性が高い高齢夫婦世帯も大幅に増加。

岐阜県の高齢夫婦のみ世帯数の推移

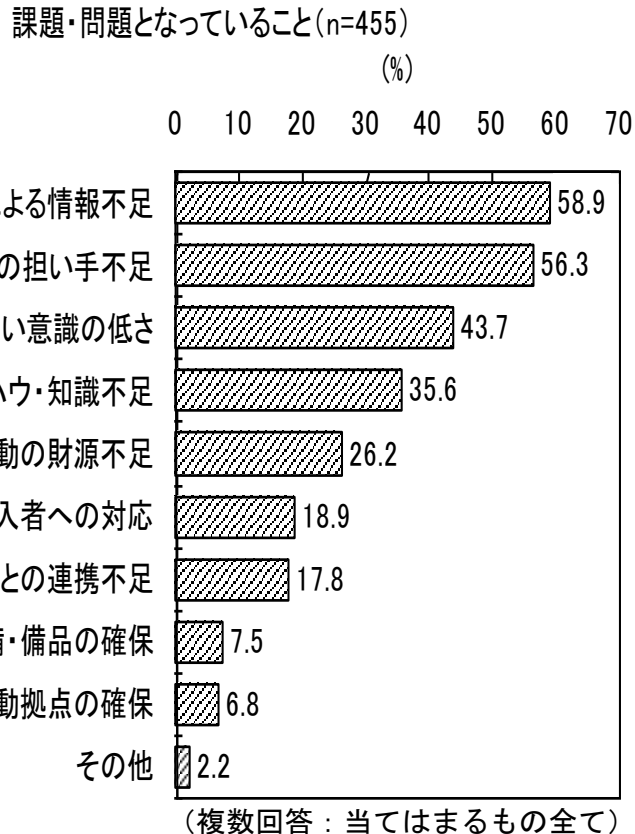


総務省：国勢調査

# 地域コミュニティが抱えている課題

## ①地域の支え合い機能の低下

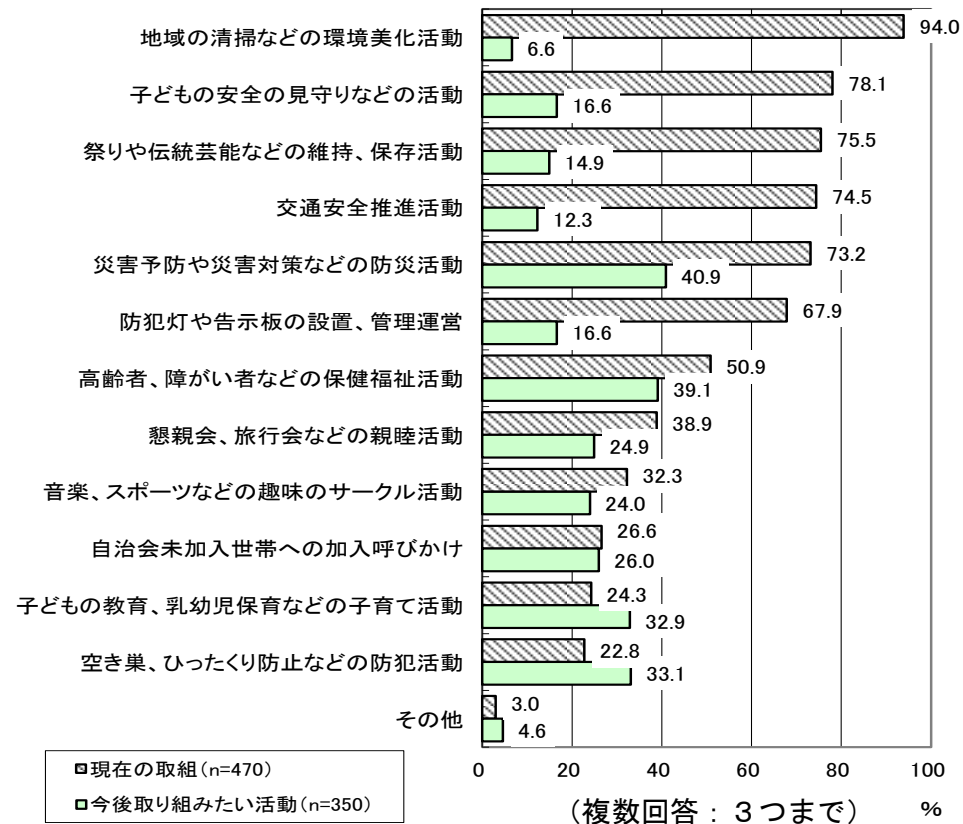
- 地域における支え合い・助け合い活動において課題・問題となっていること
- ・活動の担い手の不足や、支え合い意識の低さを挙げる回答が多い。



調査対象：連合自治会長  
(平成23年度 県地域安全室調べ)

## ②地域課題の多様化・複雑化

- 自治会で現在取り組んでいる活動と今後取り組みたい活動
- ・現在取り組んでいる環境美化活動、防犯活動などに加え、防災活動や高齢者等の福祉活動など、今後取り組みたいとする分野は多様化している。



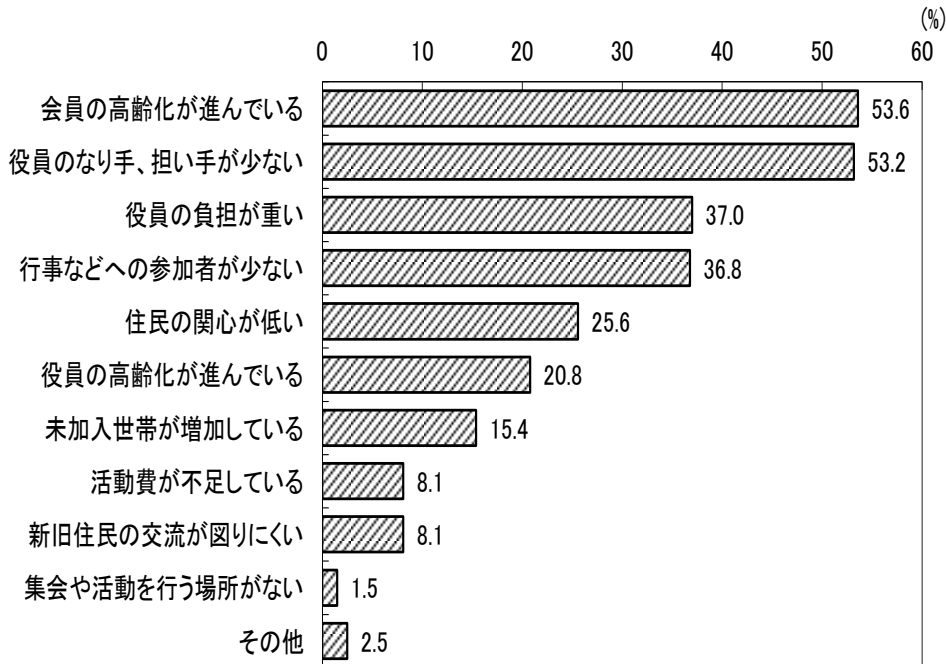
調査対象：連合自治会長  
(平成23年度 県地域安全室調べ)

# 地域コミュニティが抱えている課題

## ③地域の担い手の減少・高齢化

### ■自治会運営上の課題

・「会員の高齢化」(53.6%)、「役員のなり手、担い手不足」(53.2%)が過半数。



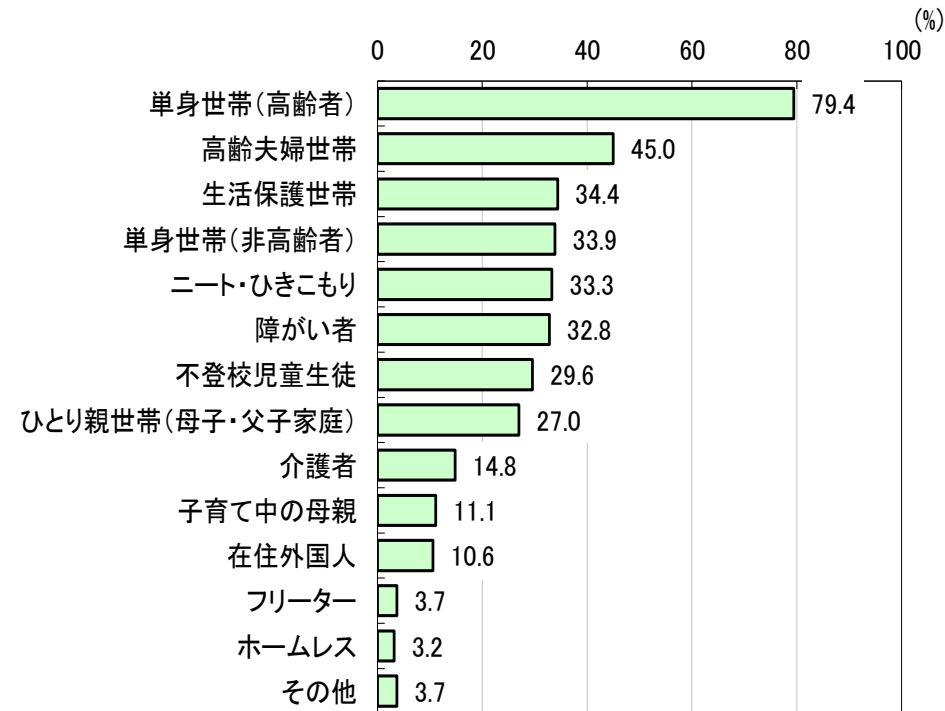
(複数回答：3つまで)

調査対象：連合自治会長  
(平成23年度 県地域安全室調べ)

## ④社会的孤立の多様化・顕在化

### ■地域で孤立状態にあると想定される方

・「単身世帯(高齢者)」のほか、「高齢夫婦世帯」や「生活保護世帯」、「単身世帯(非高齢者)」、「ニート・ひきこもり」、「障がい者」など多岐にわたる。



(複数回答：当てはまるもの全て)

調査対象：民生委員  
(平成23年度 県地域安全室調べ)

# 地域の絆づくりに向けた取組(平成24～25年度)

## 地域の絆づくり重点推進モデル事業

### モデル地域への県の支援

#### 【趣旨】

県においてモデル地域（概ね小学校区程度）を選定し、モデル事業の実施を通して、県民の安全・安心な暮らしを確保できる地域コミュニティのモデルを構築し、県内への普及・展開を図る

#### 【地域支え合いセンターの設置・運営を支援】

県は、身近な地域課題の解決や地域の絆づくりに向けた住民活動の拠点となる「地域支え合いセンター」の設置・運営を支援

#### 【地域の絆づくりに向けた支援】

県は、市町村及び地域支え合いセンター運営協議会等と連携して、社会的孤立の防止・解消に向けた人材養成事業、地域の課題解決を支援する事業、地域の担い手を育成する事業を実施

### 県が実施する地域の絆づくりに向けた支援

#### 【地域いきいきサポート事業】

地域の課題を診断し、支援ニーズに応じてサポートチーム等を派遣

#### 【コミュニティライフ・サポーター派遣事業】

企業等で働く現役世代や地域の団塊世代等を対象に、地域活動への参加を啓発する出前講座を開催

#### 【絆コーディネーターの養成】

地域で孤立し支援が必要な人を、地域の専門機関と連携して支援ニーズに応じた制度・サービスにつなぐ人材（絆コーディネーター）を養成

### 地域支え合いセンター運営協議会

自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、市町村関係部局等により構成

運営に対し協力・助言

### 地域支え合いセンター (地区ボランティアセンター)

地域住民が  
運営スタッフ

### 住民ボランティア・コーディネーター

活動依頼

相談・依頼

見守り・支援

住民ボランティア  
ボランティア団体

支援を受けたい  
地域住民

### 3つの機能

- ①ボランティアの支援を受けたい人とボランティアをつなぐ場
- ②住民が気軽に何でも相談できる場
- ③住民同士が交流できる場



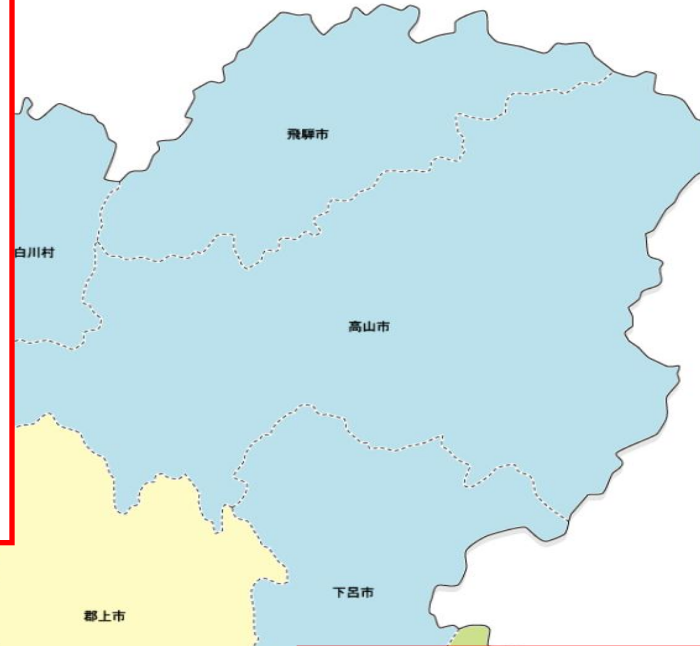
## 平成25年度「郊外新旧混住地モデル」 北方町西小学校区

### ○地域課題

- ・子育て世帯の転入増加により、地域や住民とのつながりが希薄化
- ・県営住宅を中心とする単身高齢者世帯等の居場所が少ない

### ○目指す姿

- ・高齢者と子育て世代による多世代交流を通じて支え合う活動のモデル



## 平成24年度「高齢化住宅団地モデル」 可児市若葉台地区

### ○地域課題

- ・丘陵地開発後40年を経て、住民構成が一斉に高齢化し、日常生活に支障が生じる
- ・現役世代の減少により地域の担い手が不足

### ○目指す姿

- ・急速な高齢化が進む住宅団地において住民同士が支え合う活動のモデル

# 地域支え合いセンターの設置(平成24年度)

## 課題

地域の支え合い機能の低下

## 事業概要

日常生活で困り事を抱えている住民と、それを手助けできる住民とをつなぐ「地域支え合いセンター」をモデル地域に設置し、住民同士が支え合う仕組みづくりを推進



高台から若葉台団地を望む

## 地域支え合いセンター (支援センター)



## 平成24年度モデル地域 可児市若葉台地区の取り組み

### ①住民によるボランティア活動の拠点づくり

- ・活動拠点「若葉台支援センター」の設置・運営
- ・高齢者の買い物、通院等の送迎サービス
- ・家事ちょこっと支援 等



高齢者の送迎サービス

### ③住民同士が交流できる場づくり

- ・和みの会、男性高齢者サロンの開催 等



和みの会(高齢者の食事会)

### ②住民が気軽に相談できる場づくり

- ・心配事相談、専門機関へのつなぎ 等



若葉台支援センター(相談室)

# 地域支え合いセンターの設置(平成25年度)

## 課題

地域の支え合い機能の低下

## 事業概要

日常生活で困り事を抱えている住民と、それを手助けできる住民とをつなぐ「地域支え合いセンター」をモデル地域に設置し、住民同士が支え合う仕組みづくりを推進



ハイタウン北方(約600世帯)

地域支え合いセンター  
(ひなたぼっこくらぶ  
県営住宅 集会場内)



## 平成25年度モデル地域 北方町西小学校区の取り組み

### ①住民によるボランティア活動の拠点づくり

- ・活動拠点「ひなたぼっこくらぶ」の設置・運営
- ・授業参観や講座時の一時託児ボランティア
- ・ひなたぼっこくらぶ★お助け隊 等



子どもの見守り・一時託児



行事の準備

### ③住民同士が交流できる場づくり

- ・ひなたぼっこカフェ、はつらつデイ
- ・共に夕食、リフレッシュ講座 等



はつらつデイ(高齢者健康体操)



ひなたぼっこカフェ(多世代交流)

### ②住民が気軽に相談できる場づくり

- ・気軽なよろず相談所
- ・専門機関の活用(栄養教室、包括支援センターの日)等



栄養教室

# 地域の絆づくりの支援イメージ

## 市町村(主体的に地域の絆づくりに取り組む)

### <コミュニティ施策の実施で多いもの>

- ・補助金、助成金等の財政支援(80.0%)
- ・公民館、センター等の設置管理(50.0%)
- ・施設、道路等の管理運営への住民参加(42.5%)

### <コミュニティ施策の実施で少ないもの>

- ・専門家等の派遣等の人的支援(20.0%)
- ・まちづくり協議会等のプラットフォームづくり(17.5%)
- ・住民相談窓口の設置(10.0%)
- ・技術的なノウハウの提供(7.5%)

【H23地域安全室絆づくりアンケート調査結果(市町村)】

### 【課題(地域団体)】

- ・住民意識が育っていない
- ・自立していこうとする地域が少ない
- ・自らの活動で精一杯な地域が多い

### 【課題(市町村)】

- ・一部の地域に重点的な支援は困難
- ・地域性に違いがあり参考情報が少ない
- ・専門家や人材養成のノウハウ蓄積がない
- ・地域(市町村)を超えたコーディネートは困難

【H25市町村担当者聞き取り結果】

### 【県に期待すること】

- ・地域コミュニティ活動のリーダーを養成するための講座や研修会の開催(54.1%)
- ・地域コミュニティ活動への参加を促進する環境づくり(48.6%)
- ・先進的な活動事例に関する情報の収集・提供(29.7%)

【H23地域安全室絆づくりアンケート調査結果(市町村)】

- ・専門家派遣や人材育成はぜひ活用したい
- ・地域の取り組みを学び合ったり、支援するコーディネートを求めたい

【H25市町村担当者聞き取り結果】

財政・基盤的支援

現状

A市・地域団体

- ・自治会
- ・NPO
- ・住民グループ 等

人的・情報支援

交流・連携

B市・地域団体

- ・自治会
- ・NPO
- ・住民グループ 等

## 県(市町村の絆づくりに必要な支援を実施)

今後

専門的支援

- ・人的・情報支援

広域的支援

- ・ネットワーク化
- ・情報収集
- ・情報提供
- ・人材紹介

人材育成支援

- ・地域リーダー等

### ぎふ地域の絆づくり支援センター

- ・ワンストップ窓口
- ・モデル事業成果の普及
- ・課題解決のサポート
- ・地域づくりサポーター人材バンクの運営など

■次世代地域リーダー塾の開催

■コミュニティ・ボランティアの育成

■岐阜県コミュニティ診断士の活用

■地域の課題解決専門家派遣の実施

■視察交流学び合い事業の実施

など

# ぎふ地域の絆づくり支援センター

## 地域コミュニティ活性化のための 総合的支援拠点

地域の課題や支援のニーズに沿って、住民の皆さんの思いを地域コミュニティの活性化につなげるためのコーディネート、サポートを行う。



### 人材バンク

地域づくり、絆づくりに先進的に取り組むキーパーソンや助言者の情報を一元的に管理し、課題に応じて仲介、情報提供する。

### 人材派遣

専門家を派遣し、地域課題の抽出や運営方針などを住民の皆さんで話し合うワークショップや、課題解決のヒントを提供する講演会などを開催する。

### 人材育成

地域づくり活動をサポートリードできる専門的人材を育成する。

- ・次世代地域リーダー養成講座
- ・県コミュニティ診断士の認定、養成

### 視察交流

先進的な他地域の取組みを住民の皆さんと一緒に視察し、相互理解を深めるための仲介コーディネート、バス等の支援。

# 地域の課題解決応援事業

## 地域の課題解決能力を高めるための支援をコーディネート

県

- ・ 支援団体の公募
- ・ 課題解決に向けた専門的支援をコーディネート
- ・ 支援団体と先進地域とのマッチング

### 趣旨・目的

アドバイザー、コーディネーターの派遣による専門的な支援と、先進地域との交流を中心とした学び合いによる支援を通じて、地域の課題解決力の向上を図る。

支援団体(地域)のニーズ

専門的な指導

### ○アドバイザーの派遣等【継続】

アドバイザー派遣、先進地域からの指導者招へい 等

### ○コーディネーターの派遣【継続】

コミュニティ診断士等を地域に派遣し、地域の課題について話し合うワークショップの開催・運営を支援し、新たな地域活動に向けた住民の気運を醸成

先進地域との相互交流

### ○相互交流学び合い事業【新規】

地域の課題解決に取り組む団体（支援団体）と類似した課題の解決に先進的に取り組む実績を有する地域（応援団体）をマッチング

- ・ 相互の住民参加による視察交流
- ・ 意見交換会・勉強会の開催

《効果》・ 新たな刺激による向上（応援団体）  
・ 担い手(協力者)の養成（支援団体）

地域の課題解決力の向上

平成27年度以降

支援の効果・成果を検証し、地域の支援ニーズに応じた新たな支援メニューを開発しながら継続実施

# 次世代地域リーダー塾

## 新たな地域活動を創出する地域リーダーを育成

### 次世代地域リーダー塾とは

新たな視点や感性で地域と関わり、地域の課題へ先導的にアプローチできる次世代リーダーを育成するため、新たな企画・計画づくりや地域の協力者を巻き込む組織づくり等を学ぶ。

### 現状と課題

- 役員や担い手の高齢化、人材不足  
⇒リーダーの抱える負担感、地域活動の縮小
- 組織の新陳代謝が進んでいない  
⇒活動のマンネリ化、魅力ある取組不足による無関心

県

養成講座

市町村

推薦（公募）

次世代地域リーダー

- ・女性（自治会や子供会役員等）
- ・若者など現役世代
- ・団塊の世代
- ・NPO関係者 等

新たな地域活動の創出・実践

＜ケーススタディを通じた実践的・実務的な研修＞

アプローチの指導

地域課題

- ・詳細な分析手法
- ・問題の抽出方法
- ・新たな企画・計画づくり

講師

- ・教授、専門家
- ・先進的实践者

地域住民  
（協力者）

- ・理念の発信、共有の方法
- ・協力者の募集方法
- ・組織体制の整備手法
- ・組織運営の手法

アプローチの指導

# コミュニティ・ボランティア育成事業

## 地域コミュニティ活動への理解と参加を促し新しい担い手を育成

### コミュニティ・ボランティア育成事業

企業・事業所に出向き、現役世代の従業員や近く退職予定の従業員等を対象に、地域活動への参加の意義や魅力を紹介し、地域活動への参加を支援する出前講座を開催。

### 事業の流れ

#### ステップ1

- 出前講座の開催を希望する企業・事業所を募集
- 企業・事業所（経営者、人事担当者等）への訪問

#### ステップ2

- 出前講座の講座企画

#### ステップ3

- 講師の選定

#### ステップ4

- 企業・事業所の従業員を対象に出前講座を開催

#### ステップ5

- 受講者アンケート結果をもとに講座企画の改善

○企業等を再訪問し受講の効果を取り

#### ステップ6

### 背景

- 地域の担い手の不足や高齢化が大きな課題
- 今後も団塊の世代が地域社会へ順次回帰  
(2012～3年は、団塊の世代が雇用延長後に65歳を迎える年)

### 企業・事業所

- 〈対象者〉
- ・現役世代の従業員
  - ・近く退職予定の従業員

経済団体、業界  
団体等と連携

### 出前講座

(コミュニティボランティア育成事業)

### 地域(市町村)

- 〈対象者〉
- ・退職した団塊の世代
  - ・現役世代、若者層など

市町村と連携

### 地域づくり型 生涯学習

### 出前講座の企画内容(例示)

- ・認知症を学び地域で支えよう
- ・地域で頑張るNPO
- ・企業の地域貢献活動について
- ・成年後見人制度を知ろう
- ・定年退職後の地域スポーツ活動について など



# 岐阜県コミュニティ診断士資格認定制度

## 地域コミュニティの再生・活性化を支援する専門人材を養成

### 岐阜県コミュニティ診断士とは

- 平成14年度から制度化(平成25年度までに255人を認定)
- 岐阜県と岐阜経済大学の連携により、地域コミュニティの再生・活性化を支援する専門人材を養成・認定
- 地域課題の調査分析や地域課題の解決に向けた取り組みを支援(ファシリテーター、アドバイザー、調査員等として活動)

### 資格認定までの流れ

※県と県内22の大学等で共同運営する連合体。  
単位互換授業、共同授業、多彩な公開講座の  
開催など。

#### ステップ1

- 「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜※」の共同授業  
「NPOコミュニティ論(15回)」を受講

#### ステップ2

- 「NPOコミュニティ論」のレポート提出

#### ステップ3

修了

- 「岐阜県コミュニティ診断士」実習講座を受講  
(講義・ワークショップ)

#### ステップ4

修了

- 「岐阜県コミュニティ診断士」資格認定試験を受験  
(筆記試験・集団討論)

#### ステップ5

合格

- 「岐阜県コミュニティ診断士」資格認定
- 岐阜県コミュニティ診断士として登録

県・岐阜経済大学  
(資格認定・登録)

派遣依頼

県・市町村・NPO・  
まちづくり協議会 等  
(地域課題の解決を支援)

養成・認定

派遣・紹介

岐阜県コミュニティ診断士  
(専門資格認定者)

### コミュニティ診断士の活動事例

<活動内容>

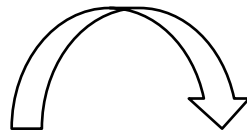
- 地域コミュニティの現状調査(フィールドワーク等)
- 地域コミュニティ活性化計画の策定
- 住民主体のまちづくり活動の指導、相談対応 など

<活動事例>

- ・県長期構想に関する県民意見交換会のファシリテーター(H20)
- ・ソーシャル・キャピタル研究支援事業におけるファシリテーター  
(岐阜市 H22~) 等



「NPOコミュニティ論」サテライト会場の様子

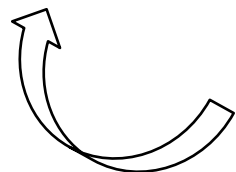


コミュニティ診断士の誕生

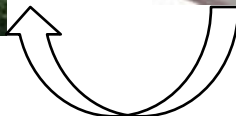
岐阜県  
コミュニティ診断士  
誕生のながれ



大垣市での  
市民ワークショップ



白川村ヒアリング調査



高山市でのグループワーク



# ○岐阜県が考える「生涯学習」の2つの役割

個人的生活の充実のための生涯学習

## (1) 趣味・教養的な講座を受講する

(例) 料理、健康、スポーツ、  
絵画、音楽など



自分の知識や技術、経験を高めて個人の生活の充実を図るもの

自分のために

社会的生活の充実のための生涯学習

## (2) 身近な地域の課題を解決する活動

(例) 子育て、福祉、環境、  
まちづくり、防犯など



自分の知識や技術、経験を役立てて社会的生活の充実を図るもの

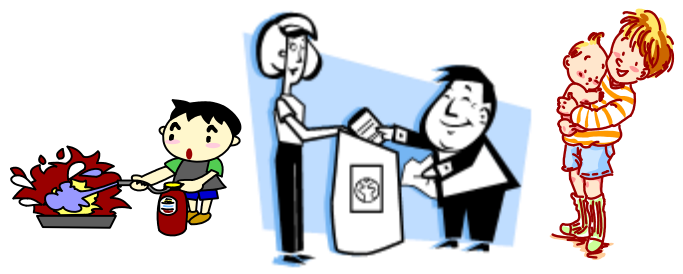
みんなのために

# 「地域づくり型生涯学習」

- \* 人びとの「つながる力」を広げる
- \* 人が育ち合う地域づくりを進める

自分を高める  
学習活動  
(趣味・教養  
の学習)

(2) 身近な地域の課題を  
解決する活動  
(例) 子育て、福祉、環境、  
まちづくり、防犯など



地域をより良くするために役立て、社会生活の  
充実を図る学習活動

自分の知識や技術、経験を役立てて社会的生活の  
充実を図るもの

# 岐阜県生涯学習振興指針の概要

～「地域づくり型生涯学習」による

地域の「絆」とコミュニティの再構築～

キャッチコピー

**地域へつなぐ あなたの学び**

## ■ 策定趣旨

○社会情勢の変化を踏まえ、旧指針の改訂版として策定。

→ **「地域づくり型生涯学習」を踏襲**

○「地域づくり型生涯学習」を通して、**人びとや地域のつながりを強化**するとともに、**多様な主体が参画する新たなコミュニティの構築**を目指す。

○個人、地域団体、NPO・ボランティア団体、学校、大学等高等教育機関、民間教育事業者、企業、生涯学習施設等、市町村、県に期待される役割を示す。

○平成24年度から平成28年度の5年間を対象とする。

# 生涯学習推進事業(長期型人材養成、きっかけづくり、成果を生かす場づくり) 「学びによる地域づくり活動実践講座」

## 事業概要

- 平成24年3月策定の新指針に基づく、長期型人材養成事業
- 地域住民が自ら地域課題を見つけ、課題解決に向けた活動計画の立案やそれに基づいた実践活動を学ぶ講座
- 地域づくり活動を創出できる人材の養成と地域における活動の場づくりを目的とする
- 平成25年度より、中間発表会以降の実践活動を市町村に業務委託。

実施期間:約10ヶ月  
実施数:1市町村

主催:岐阜県  
実施市町村

参画者:実施市町村に在住・在勤の岐阜県生涯学習コーディネーター  
実施市町村の住民・在勤者

## 講座内容

(1)地域づくり活動を創出する活動の学習(自主ワークショップを含めて10回程度)

**STEP 1** 地域課題の発見と取り組む課題の選定

**STEP 2** 課題解決のための計画、方策の立案

**STEP 3** 地域づくり活動実践のための調査

**STEP 4** 実際の地域づくり活動



ワークショップ

(2)中間報告会・最終報告会における学習成果の報告

**中間報告会** 地域課題の発見・その解決のための計画方策の発表

**最終報告会** 地域づくり活動の取組を伝えよう

# 「学びによる地域づくり活動デビュー講座」

## 事業概要

- 平成24年3月策定の新指針に基づく、短期型人材養成事業
- 地域課題の発見から課題解決に向けた活動計画の立案までを、短期間で学ぶことができる講座
- 地域づくり活動を企画・立案できる人材の養成と地域づくり活動に参加するきっかけづくりを目的とする

実施期間:約3日間  
実施数:5市町村

主催:岐阜県  
実施市町村

受講者:地域づくり活動に興味・関心のある、  
実施市町村の住民・在勤者

## 講座内容

- 地域づくり活動を企画・立案する学習

**STEP 1** 地域課題の発見と取り組む課題の選定

**STEP 2** 課題解決のための計画、方策の立案



**第1回ワークショップ** 「地域課題を見つけよう」

**第2回ワークショップ** 「地域課題から地域づくり活動を考えよう」

**第3回ワークショップ** 「活動計画を立てよう」

ワークショップ

受講者の自主的な地域づくり活動の実践および実施市町村による活動の支援へ

# (参考) 清流の絆 ぎふ県民交流研修会

○平成25年10月12日(土)開催 於:羽島市文化センター





# (参考) 清流の絆 ぎふ県民交流研修会

## 第1分科会

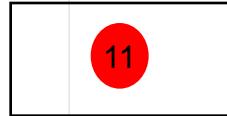
- ①揖斐川町小島地区「チームおじま」
- ②長良川もてなし隊にしふれんず
- ③岐阜経済大学ボランティアラーニングセンター
- ④羽島市上中町老人クラブ連合会

## 第2分科会

- ⑤北方町ひなたぼっこくらぶ
- ⑥NPO法人山県楽しいプロジェクト
- ⑦可児市若葉台自治会・高齢福祉連合会
- ⑧NPO法人りあらいず和

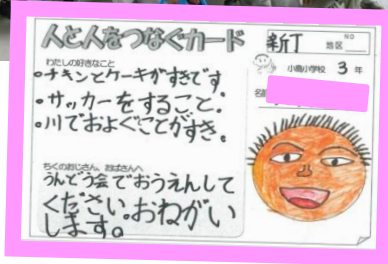
## 第3分科会

- ⑨飛騨市消防団古川方面隊女性分団
- ⑩岐阜市本荘自治会連合会・  
本荘まちづくり協議会
- ⑪東京都立川市大山自治会
- ⑫NPO法人クローバ！



県内各地で先進的な取組が行われています！ この取組を交流会で広く紹介しました

# (参考) 清流の絆 ぎふ県民交流研修会



## ① 揖斐川町小島地区「チームおじま」

国体で繋がった仲間の輪を活かし、地域のために活動しようと立ち上がった高校生や大学生、80代までの幅広い年代で活動。

- 揖斐川中学校の生徒から、要望のあった「自転車置き場の塗装」。小学校の草刈り、夏祭りでは、お父さんチームとお母さんチームにわかれ、出店。
- 小中学校の子どもが、地域の人にメッセージ入りで自己紹介をする「つなぐカード」の作成・配布をお手伝い。

## ⑥ NPO法人山県楽しいプロジェクト

平成18年にママ友達と始めた子育てサロンから、平成23年から山県市北部で地域活性化体事業を立ち上げるなど幅広く活動。

- 地域子育て支援拠点「おやこYYひろば」を運営。
- 山県市と協働で北山地区の廃校を活用した農家レストラン「おんせえよお」を運営。
- 婚活イベントを実施。



# (参考) 清流の絆 ぎふ県民交流研修会



## ⑧NPO法人りあらいず和

障がい児の親の会による通学送迎サービスから、地域のニーズに対して「断らない」をモットーに、複合的に多様な事業を展開。

○地産地消の材料を使い、障がいのある方の手作り弁当を、地域の高齢者宅まで笑顔でお届け。

○製菓、製パン、お惣菜など、ハンディキャップがあっても笑顔で仕事ができる就労継続支援の環境を整備。

## ⑪東京都立川市大山自治会

「人が人にやさしいまち、必要とされる自治会」、「ゆりかごから墓場まで」をモットーとし、向こう三軒両隣を基本にしたコミュニティづくりを展開。

○「市(住民主体の自治会)・能(能力・技術者の人材バンク)・工(工夫有・アイデアで企画運営)・商(コミュニティビジネスで有効活用)」を基盤とし、自治会加入率100%、孤独死ゼロを実現するなど24時間体制で安心できるまちづくりを進めている。



# 地域の絆づくりの推進に向けて（まとめ）

## 地域コミュニティの再生・活性化

### ○地域の絆づくりの推進

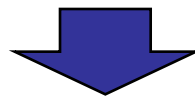
- ・ぎふ地域の絆づくり支援センターの設置・運営
- ・住民が支え合う仕組みの県内への普及
- ・地域課題の解決に向けた専門家の派遣、学び合いの機会の提供
- ・地域リーダーの発掘・育成

### ○生涯学習の推進

- ・地域づくり型生涯学習の推進

### ○多文化共生の推進

- ・多国籍県民が安心して働き暮らせる環境の整備



多様な主体の参画による暮らしやすい地域づくりへ！